



TakaRa Clontech

第66回日本生物工学会大会



タカラバイオ ランチョンセミナー

9月10日(水) 11:45-12:45 2階 E会場(204)

# PacBio® RS IIを用いた 高精度ゲノム解析

タカラバイオ株式会社 CDMセンター 湯原 悟志

## CDM (Contract Development & Manufacturing) センター

タカラバイオでは、バイオ医薬品やバイオ産業の支援をより強化するため、2014年4月1日よりCDMセンターを設立し、探索的な研究から、バイオ医薬品の製造、安全性試験に至るバイオ関連受託サービスを提供いたします。研究支援を担ってきた「ドラゴンジェノミクスセンター」と臨床試験やバイオ医薬品開発支援を担ってきた「細胞・遺伝子治療センター」を統合し新たなスタートを切ります。

タカラバイオ株式会社では、2013年11月に国内企業としては初めてPacBio RS IIを導入、同年12月よりシーケンス受託解析サービスを開始しています。PacBioは、DNAの増幅過程を全く含まないためシーケンスバイアスが非常に少ない事、サンガー法を超える超ロングリードを出力可能である事等の特徴を有しており、従来法では解析が困難であった複雑なゲノム構造を持つ生物種やGC含量が極端に高い(低い)生物種でも容易に解析する事が可能になっています。本学会では、PacBioを用いたゲノム解析の例や、タカラバイオが提供するサービス内容について紹介致します。

## タカラバイオ株式会社

東京支店 TEL 03-3271-8553 FAX 03-3271-7282  
関西支店 TEL 077-565-6969 FAX 077-565-6995  
TaKaRaテクニカルサポートライン  
TEL 077-543-6116 FAX 077-543-1977  
Website <http://www.takara-bio.co.jp>  
Facebook <http://www.facebook.com/takarabio.jp>

that's  
**GOOD**  
science!™